

現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和7年8月

（１）沖永良部果樹生産組合マンゴー品評会が開催される

7月31日、マンゴー品評会が知名町役場で開催され、組合員、関係機関等約40人が参加しました。玉揃い、外観、糖度、食味の項目で審査を行い、金賞1人を含め4人が入賞しました。今年産は開花期の気温が低く推移し、着果率が低くなりましたが、昨年を上回る14点の高品質マンゴーが出品されました。審査後、農業開発総合センター普及情報課、大島支場より「本年度の春先の気象に応じた温度管理法と今後の着果安定のための整枝」に関する研修も行われ、次年産の安定生産に向けた有意義な会となりました。



（２）新規就農者基礎講座で意欲を新たに

8月26、27日に新規就農者基礎講座を沖永良部事務所で開催し、新規就農者10人が参加しました。指導農業士からは意見交換で「目標を実現するための計画作成、研究・情報収集の重要性」や「さとうきびの雑草除去と収穫後の残渣処理方法」について助言がありました。講座は、農業普及課職員が、農業経営、農作業安全、畑かん水利用、病虫害対策、土壌肥料、GAPについて講義しました。新規就農者は熱心に聞いており、概ね理解したようです。今後も新規就農者の定着へ向けて支援していきます。



（３）新規就農者の経営安定に向けて指導農業士が支援

8月21日、与論町指導農業士5名と関係機関は、新規就農者（生産牛農家3戸、野菜農家2戸）を巡回し、経営の状況確認やアドバイスをを行いました。新規就農者からは、牛舎・堆肥舎の整備や飼料栽培、いんげん・さといも栽培方法や新規品目導入等について相談があり、指導農業士はこれまでの経験を生かした具体的なアドバイスを行いました。今後も適期アドバイスが行えるように指導農業士と連携し、新規就農者の経営安定に向けて支援をしていきます。



(4) 知名町のえだまめ生産振興に向けて

8月18日に関係機関・団体8名でえだまめの振興方針に関する打合せを行い、栽培状況の推移や収益性について説明しました。えだまめの生産振興には単収向上が必要であり、基礎的な栽培管理（かん水、防風、害虫・雑草防除など）の徹底や高単収農家の実態把握が重要であることを共有しました。また、21日に行われた栽培講習会には生産者10名が参加しました。農業普及課から栽培方法の説明を行った他、生産者同士でも栽培技術に関して活発に議論が交わされました。



(5) 沖永良部島で青年農業士講座研修が開催

8月6～7日に、和泊町役場で青年農業士講座制研修（総合講座）が開講されました。沖永良部島で同研修が開催されたのは令和3年度以来、4年ぶりです。同研修では、先輩農業者による講話、プロジェクト活動に関する講義の他、農業をめぐる情勢、営農及び生活設計等に関する経営の講義・演習がありました。研修に参加した農業青年は、プロジェクト活動や専門性の高い経営を学び、農業経営に関し一層意欲を高めていたようでした。農業普及課は、引き続き農業青年に支援を行います。

